

令和7年度第11回沼田市教育委員会会議録

- 1 期日 令和7年12月24日（水）
- 2 場所 テラス沼田 庁議室
- 3 出席者 竹之内篤教育長、武藤英子委員、長谷川清委員、小黒陽子委員、佐藤広幸委員
- 4 沼田市教育委員会会議規則第19条第3号による出席者

星野盾教育部長、栗原満博教育総務課長、林武史学校教育課長、武井良和生涯学習課長、原澤秀樹文化財保護課長、阿部勝良スポーツ振興課長、真船啓子教育総務課長補佐

- 5 開会宣言（午前9時25分）
- 6 会議録の承認

- 7 日程第1 会期の決定

会期は、12月24日の一日と決定

- 8 日程第2 会議録署名委員の指名

教育長が武藤英子委員を指名

- 9 日程第3 教育長報告

（教育長）

各幼稚園小中学校では本日2学期の終業式を迎える。教育委員の皆さんには、2学期においても沼田市の教育の充実に向け、ご尽力いただき感謝申し上げます。本日は2点報告したい。

1点目は、12月議会についてである。

6人の議員から15項目について一般質問があった。

- （1）ぬまた未来創造学の取組の現状と今後について
- （2）学力向上のための取組の現状と今後について
- （3）子どもたちのより良い人間関係づくりの取組について
- （4）教員の多忙化解消に向けてどう取り組んでいるのか
- （5）業務量管理・健康確保措置実施計画の策定状況について
- （6）子供たちの読書活動を充実させていくために学校でどのような取組を進めていくのか
- （7）ミズノスポーツサービス株式会社に市有運動施設の管理運営を任せることの検討について
- （8）ミズノスポーツサービス株式会社との学校における体育授業での連携の

検討について

(9) ミズノスポーツサービス株式会社との学校部活動の地域移行での連携について

(10) 不登校生徒の状況と推移はどのようになっているのか

(11) これまでの不登校生徒への対応と今後どのような対策をすすめるのか

(12) 小中学生など年齢に応じた防災教育はどのように実施されているのかについて

(13) 命を守り育てる教育の取組について

(14) 町中探検について

(15) たんばら・森林の学校を広げることについて

以上となるが、ご指摘いただいたことについて、今後研究・検討させていただき、本市の教育行政の充実に努めていきたい。

2点目は、12月の校長会での指示伝達事項についてである。

大きく3点について指示・伝達を行った。

1点目が子供たちや先生方の活躍について、公開授業、子ども議会、市民音楽祭、利根沼田ロードレース大会での様子を取り上げ、感謝を伝えるとともに引き続き様々な機会を子供たちの成長に結びつけていけるようお願いした。

2点目が人事管理に関わり2つで、1つ目が、人事に関する情報を迅速に教育委員会に連絡すること。2つ目が、学校と教育委員会とで連携して、計画的に教職員の育成に向けて取り組んでいくことを確認をした。

3点目が服務規律の確保に関わり、年末・学期末に向けて、個人情報管理、通知表や入試に関わる書類の作成・点検を徹底することについて確認をした。

(長谷川委員)

ミズノに関して質問があったが、議会に出るといことは何かあったのか。

(教育長)

包括連携協定の更新をした。協定を結んでいるので、もっと連携した活動を進めたほうがいいのではないかという趣旨であった。

(教育部長)

包括連携協定については、広範囲にわたって連携をしていこうということで企業の社会貢献という形になっている。営利活動と基本的に結びつかないものになっていて、契約等伴う活動については別途、公平な立場で事業者を決定し、事業を執行していくことになる。社会貢献の部分、包括連携を結んだ部分について、企業が自治体に協力をしていただけられるものである。

(武藤委員)

生涯学習の関係で、書道と英会話に行ってきた。書道は先生が精力的に皆さんのところへ行って指導していたので、生徒さんたちもとても身の入った学びだったと思う。とても静かな空間で良かった。英会話は個人差があるので、先生がとても大変だろうと思ったが、日本語がよく分かっている先生なので、うまく組み立てているのだと思った。とても楽しい勉強を見させていただいた。

(長谷川委員)

給食無償化ということが、国の事業で来年4月から決まったと言うことで、沼田市はこれからどのように変わっていくのか伺いたい。また、先日行われたかるた大会で、県で優勝すると賞金100万円ということが話題になっている。良い策だなと思ったが、逆の意見もあったようである。

(教育総務課長)

給食の無償化に関して、沼田市はどのように変わっていくのか、取り組んでいくのかということだが、12月11日に沼田市学校給食センター運営委員会という条例に基づく諮問機関で給食費の見直しについて審議いただいた。現状の小学生252円、中学生以上282円の給食費を見直していくにあたって、どのような金額が妥当かを審議いただいた。こちらから提案したのは、およそ22%上げていただく金額で、概ね承認をいただいたところである。日額で言うと小学生307円、中学生以上343円になる。新聞報道である国の小学校の無償化の月額5,200円に対してどうなのかということところだが、5,200円に対して小学生の単価は概ね5,500円前後となる。中学生以上の単価では月額で6,200円前後になる。1月に2回目の運営委員会を開催して答申が決まれば、1月の教育委員会に提案させていただき、議決をいただき、給食費が正式に決まることになる。決定後は、速やかに関係機関への周知、給食費の徴収の取扱いについて、平行して検討していくことになる。

(生涯学習課長)

かるた大会の関係だが、今のところ実際に優勝した場合にどういうふうにお金が動いてくるのかというのは、こちらにも知らされていない状態である。優勝が条件なので狭き門だと思うが、詳しい情報が得られたらその段階でお伝えしたいと思う。

(小黒委員)

11月末に教育水準向上研究授業研究会で、白沢小学校に訪問させていただいた。とても明るく楽しそうに授業を進めていて、子供も楽しみながら学習ができているように感じすばらしいと思った。沼田小学校にも訪問させていただいたが、こちらは授業が始まる前にゲームのようなことをして、それが子供たちの活発な意見を聞き出しているのかと感じた。先生の問いにすぐに考えがまとまってノートに記入できる子供もいれば、なかなか手が動かない子供もいて気になった。

義務教育学校設立に向けた利根地区の住民向け説明会に参加させていただいた。義務教育学校については理解、納得されているようだったが、利根キャンパス設置については賛否両論があって、納得されていない方が多数いることがわかった。全ての方が思う通りにはできない、難しいとは思いますが、子供を学校に通わせる当事者となる保護者の意見を参考にして、慎重に進めていかなければならないと感じた。

中学生のための大学講座に参加させていただいたが、地域の防災について勉強になった。多那小中の校長先生が来ていたが、せっかくの機会だったのでほかの小中学校の先生方にも参加していただきたかった。防災教育というのはとても重要で、実際、子供が1日の3分の1は学校で過ごしているので、災害が起きたときに先生が地域の危険性を把握していたほうがよいので、ぜひ講義を受けていただきたかった。

(学校教育課長)

教育水準の授業は夏休み頃から授業作りを始めていて、市教育委員会と利根教育事務所の指導主事も入って念入りに授業を作っている。特に秋に実施する公開授業は学校で一本という形なので、先生方も授業作りから勉強している授業である。そういう意味で、指導力を高め、様々な工夫やアイデアが寄せられる中でできていると感じている。すぐに答えが出てきた子供とそうでない子供がいるのが現状なので、個別に丁寧に対応していくのが我々の仕事なので、これからも指導力を高めていきたいと思う。

大学講座については本当にいい内容で、また身近な内容だったので、先生方が参加できたと感じた。来年度も考えているので、こちらのアピールの仕方も工夫して、参加ができるように体制を整えたいと思う。

(教育総務課長)

説明会に参加されていた方は、利根キャンパスに対するいろいろな意見を持っている方が集まったと思っている。実施計画を決める過程で、パブリックコメントの中でも利根キャンパスに関する意見は特になく、計画自体を良いと思っている方は説明会には参加はされなかったということもある。慎重に検討・対応をしていかななくてはならないと感じている。学校が単なる学び舎だけではなくて、地域コミュニティの核、防災拠点になるといった学校が持つ役割も大事なことなので、保護者だけでなく利根町の地域全体で考えていかなければならないということである。地域全体で考えていただくために、利根町全部の区長さんと保護者の代表、未就学児の保護者の代表も含めて意見交換ができればと、日程調整しているところである。

(小黒委員)

説明会で利根キャンパスに反対されている方が強い意見を言ったので驚いた。反対意見があるとしても、理解した上での義務教育学校の説明会参加だと思っていた。

(教育長)

事務局側としては反対意見が出てくることは想定のもとであった。まずは義務教育学校のことをよく理解していただき、意見等をあげていただく中で検討をしていく必要がある。

(教育部長)。

優先順位をどういうふうにとっていくかという部分と、住民の合意形成をどういうふうにか考えるかというところがある。優先順位は、義務教育学校を設置して、白沢・利根地区の教育環境を整えることが前提なので、そこは揺るがないと思う。利根キャンパスを残すかどうかは、今後の社会的な状況も踏まえて決めていく。意見については、一部の人の意見に全体の雰囲気が流されるという部分もあるので、参加していない人や声を上げなかった人の潜在的な部分も確認をしながら慎重に進めるということでご理解いただきたい。

(佐藤委員)

12月1日付の新聞に高校入試希望の倍率が出たが、群馬県内が0.97でほ

ば全員が入れる。小中の連携、義務教育学校、小中一貫教育が利根沼田でも進む現状で、この先中高の連携が大事になっていくと思う。高校まで含めた一貫した教育の必要性が出てくるのではないかと感じた。高校で自由研究発表会というのがあるが、利根商業高校は藤原にあるハム屋さんと連携して桑の葉ソーセージを開発している。利根実業高校はたけのコロッケという、たけのこを使用したコロッケのアイデアを出したりして面白かった。同じようなことをやっているのなら、それを交流につなげてもいい。義務教育課と高校教育課は全く別で、なかなか歩み寄りがなく、何をやっているかお互いに分からない状況がたくさんあると思う。中学の先生が高校の先生を知っている、高校の先生が中学の先生を知っていて、お互いの意見を尊重しながら学校教育が進められたらいいと思う。

上毛かるたの話があったが、上毛かるたを群馬県の全員が暗記して言えるというのがあったが、今の子供を見ていると練習会に参加している一部の子供しか言えない。昔は小学校に上毛かるたが置いてあって休み時間にやったりしていたが、今は見なくなった。

(学校教育課長)

高校との連携の話をしていただいたので少し情報を提供させていただく。升形小学校の子供が利根実業高校の生徒にお世話になって、沼須ネギを育てている。利根中学校は尾瀬高校との連携型になっているので、自然観察会などを行っている。先日高校教育課の方と今後の連携をどうしていくかと話をしたところだが、利根中学校が統廃合でなくなってしまうと尾瀬高校は連携校が片品中学校だけになってしまう。利根は白沢に通うことになるので、白沢の義務教育学校と尾瀬高校が連携できるか、どんなことができるだろうかというのを探っているところである。内容的にはできるが、距離が遠くなることやスクールバスが利用できるかとか、人数が多くなることで全員がこれまでのようなことができるのかということも含めて検討が始まった。

もう一つは、沼田高校を会場にして探究の発表会があった。多那中学校は1、2年生を連れてきて子供にも見せていい勉強になったと思う。私たちが推奨しているぬまた未来創造学の参考になる部分もたくさんあったので広めていきたいと思う。小学校の校長先生、中学校の校長先生や教頭先生も来ていて大きな刺激を受けていたので、今後の学校教育に生かされると思う。沼田高校とは教職の関係でも連携が図られ始めている。沼田高校の中に教職に注目した科目が選択できるようになってきて、実際の学校とつながりたいということで、沼田中学校、沼田東小学校、沼田小学校など歩いて行ける範囲内で、高校生が実際に学校に向いて、先生がどんな仕事をしているのか、先生はどんなことを課題としてやっているのかということを実際に目で学ぶ授業をやっていく連携が始まったところである。

(生涯学習課長)

上毛かるたの関係だが、上毛かるたは青育連団体を中心として普及活動に努めている。子供が減っていることもあるが、活動を役員さんに委ねているところがある。できるだけ講習会等に力を入れて調整に努めている状態であるが、青育連組織自体の人口減少があって、青育連自体が維持できなくなっている。育成会自体が維持できなくなっているということも最近は見られている。また、町の育成会の活動をしないことで、本当は上毛かるたをやりたいが練習会をしていな

いので出られない子供がいるという話も聞いている。そういった子供たちについて、救済できるのかどうかというのを検討している。全体として、停滞しているところもあるので、関係団体含めて検討して参りたいと考えている。

・ 次回開催日

次回開催を、令和8年1月21日（水）午前9時30分から予定

（教育総務課長）

- ・ 「沼田市新たな学校づくり実施計画」の進捗状況について
- ・ 1月の主な行事予定について

（学校教育課）

- ・ ふるさとぬまた未来創造奨学金奨学生の内定について
- ・ 令和7年度沼田市いじめ防止子ども会議について
- ・ 令和8年度群馬県公立高等学校入学者選抜日程等について
- ・ 令和7年度中学生のための大学講座(理科)について
- ・ インフルエンザ等の感染状況について

（生涯学習課長）

- ・ 沼田市子ども会上毛かるた大会の結果について
- ・ 社会教育功労者等表彰式及び生涯学習講演会について
- ・ 沼田市文化祭及び伝統芸能発表会の結果について
- ・ 第22回 おのちゅうこう「ふるさと文学賞」表彰式について

（文化財保護課長）

- ・ 文化財保護課企画展「沼田の俳人金子刀水と文化人たちの交流」について
- ・ 令和7年度古文書連続講座について
- ・ 「ちょっとマニアックな建物見学ツアー in 大正ロマンエリア」の結果について
- ・ 生方記念文庫第39回企画展「江戸の本 読む・書く・刷る 江戸の出版文化をたどる」の結果について
- ・ 歴史資料館第28回企画展「重なる沼田城 戦国時代の争奪と真田氏による普請の歴史」の結果について
- ・ 「埋蔵文化財調査センター収蔵施設・資料見学会」の結果について

（スポーツ振興課長）

- ・ 第66回利根沼田ロードレース大会の結果について
- ・ 第54回沼田市ミセスバレーボール大会の結果について
- ・ 第41回沼田市民インドアソフトテニス大会について
- ・ 第64回群馬県都市対抗スケート競技大会について
- ・ 第82回群馬県都市親善スキー競技大会について

- 10 日程第4 報告第7号 沼田市立小学校及び中学校の通学区域等に関する規則の一部を改正する規則について

議事の概要

地方公共団体情報システムの標準化に関する法律の施行により、標準化対象業務について、国が示す標準化基準に適合したシステムを利用することが義務付けられ、帳票レイアウトや記載事項等が全国で統一されることとなった。規則の一部改正について、教育長が臨時代理したものを報告し、その承認を求めるもの

学校教育課長が提示資料により説明

異議なく報告のとおり承認

- 11 日程第5 議案第24号 沼田市教育委員会公印規則の一部を改正する規則について

議事の概要

公印の印影の大きさについての規定を加えるための規則の一部改正について議決を求めるもの

教育総務課長が議案書添付資料により説明

異議なく報告のとおり決定

- 12 閉会宣言（午前10時40分）